

食中毒事件発生情報 第10号

平成 26 年 12 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日までに次のような食中毒事件が発生しています。

【広島市】

発表日	発生場所	原因施設	病因物質	概要
12/23	広島市	飲食店	ノロウイルス	当該施設が12月18日に提供した料理（刺身、天ぷら、にぎり寿司等）を食べた2グループ57名中28名が12月19日7時から21日17時にかけて下痢、吐き気、嘔吐等。施設の拭き取り検査、患者便及び従事者便からノロウイルスを検出。

【全国】

発表日	発生場所	原因施設	病因物質	概要
12/19	静岡県 浜松市	魚介類販売店	ノロウイルス	当該施設が12月15日に販売した刺身を食べた189名中64名が12月16日午後8時から下痢、発熱、吐き気等。患者便及び従事者便からノロウイルスを検出。
12/21	茨城県 日立市	飲食店	ノロウイルス	当該施設が12月16日及び17日に提供した仕出し弁当（おにぎり、押し寿司、等）を食べた2グループ84名中42名が12月17日10時頃から吐き気、嘔吐、下痢等。患者便及び従事者便からノロウイルスを検出。
12/20	群馬県 太田市	福祉施設	ノロウイルス	当該施設が12月15日に提供した料理（カレーライス、おにぎり等）を食べた86名中31名が12月16日9時頃から嘔吐、下痢、発熱等。患者便及び従事者便からノロウイルスを検出。
12/22	広島県 福山市	飲食店	ノロウイルス	当該施設が12月12日に提供した料理（サラダ、刺身、鍋等）を食べた2グループ64名中33名が12月13日5時から下痢、発熱、吐き気等。患者便からノロウイルスを検出。
12/24	埼玉県 加須市	飲食店	ノロウイルス	当該施設が12月19日に提供した料理（刺身、カキのグラタン等）を食べた2グループ47名中21名が12月20日5時頃から下痢、嘔吐、発熱等。患者便及び従事者便からノロウイルスを検出。
12/29	長野県 飯山市	飲食店	ノロウイルス	当該施設が12月25日に提供した料理（自身フライ、千切りキャベツ、そば等）を食べた40名中26名が12月26日午後8時頃から吐き気、嘔吐、発熱等。患者便及び従事者便等からノロウイルスを検出。
12/23	富山県 氷見市	魚介類販売店	フグ毒 (テトロドトキシン)	患者は12月16日に当該施設から購入した未処理のクサフグを自ら調理し、卵巣等の有毒部位を焼いて食べ、12月16日13時ころから麻痺、嘔吐等を発症。当該施設は有毒部位を除去せずにクサフグを販売していた。

○ノロウイルス食中毒が多発しています。また、その多くの事案で調理従事者の検便からノロウイルスが検出されています。

○有毒部位を除去していないフグを一般の消費者に販売することは禁止されています。

病因物質が調査中であつたり、患者数等が変わる場合があります。

広島市食品安全情報センター（広島市保健所 食品保健課）電話：241-7437

※ 広島市食品安全情報センターニュースはホームページにも掲載しています。

広島市ホームページで 広島市食品安全情報センターニュース と検索してください。